

県内医療における 災害対応と連携

茨城県看護協会災害支援における現状と課題

公益社団法人茨城県看護協会

白川 洋子

災害支援ナースの主な活動内容

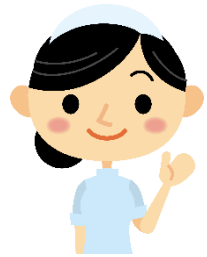
1.避難所への支援

一泊2日、2人を基本にした看護職のチーム活動。主に避難者の健康維持を中心に避難所での生活全般の支援に当たった。

2.JMAT茨城

発災直後より四師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会）による急性期での活動、多職種でのチーム活動で日中のみ。

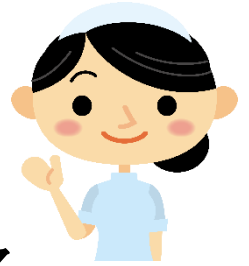
公益社団法人茨城県看護協会とは



<目的>

公益社団法人日本看護協会との連携の下、保健師、助産師、看護師及び准看護師が、教育と研鑽に根差した専門性に基づき、看護の質の向上を図るとともに、看護職が医療の担い手として誇りを持って安心して働き続けられる環境づくりを推進し、併せて地域のニーズに応える保健・医療・福祉の推進を図ることにより、県民誰もが健康で安心して暮らすことが出来る社会の実現に寄与することを目的としている。

公益社団法人茨城県看護協会の事業



1. 教育・研鑽による看護の質の向上に関する事業
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による
県民及び福祉の増進に関する事業
3. 看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の
改善への提言に関する事業
4. 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福
祉に関する事業
5. 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション
等の設置及び運営
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

茨城県看護協会の災害支援

<目的>

東海村の放射線臨界事故・東日本大震災における救護活動を教訓に、茨城県内に発生しうる大規模な災害を想定し、県民の安全確保のため、また、県外に発生した場合の支援に関し、茨城県看護協会定款第4条(6)その他の本会の目的を達成するために必要な事業に基づき支援活動を行う。



災害支援ナースとは

看護職能団体一員として被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職であり、県看護協会に登録されている。

登録要件

1. 県看護協会に加入している
2. 実務経験5年以上の者
3. 災害看護に必要な研修を受講している
4. 施設長の許可がある
5. 登録は更新制、3年以内にフォローアップ研修

災害支援ナース登録者(地区別)

地区	登録者数	登録施設数
水戸	31	9
日立	23	7
常陸太田・ひたちなか	15	7
鹿行	18	6
土浦	9	3
つくば	8	5
取手・竜ヶ崎	41	11
筑西・下妻	28	5
古河・坂東	2	1
計	175	54



二次医療圏ごとの災害支援ナース登録者数



古河・坂東2



災害の経過と必要とされる看護の専門領域

災害発生からの時期	必要とされる看護内容・援助内容
災害発生～初動 (発生直後～3日程度)	救命救急看護・トリアージ 手術室看護・透析看護・外科看護 緊急時看護管理
初動～初期対応 (3日～2週間程度)	内科看護 慢性疾患看護 外科看護
中期対応 (数週間～3ヶ月程度)	精神看護・地域(在宅含む)看護・公衆衛生看護 社会資源の活用 様々な看護領域での活動
長期対応 (3ヶ月以上)	地域・公衆衛生看護 精神看護(アルコール依存症等) 母性・小児看護 派遣者へのケア

災害支援の対応区分

災害対応区分	災害支援ナースを派遣する看護協会	派遣調整
<p>レベル1(単独支援対応) 被災県看護協会のみで 看護支援活動が可能な 場合</p>	<p>被災県内の災害支援ナースにより支援 活動を行う</p>	<p>被災県看護協会</p>
<p>レベル2(近隣支援対応) 被災県看護協会のみでは 活動が困難または不十分 であり、近隣看護協会から の支援が必要な場合</p>	<p>被災看護協会および近隣県看護協会が 災害支援ナースを派遣する</p>	<p>日本看護協会</p>
<p>レベル3(広域支援対応) 被災県看護協会および近 隣県看護協会のみでは困 難または不十分であり、活 動の長期化が見込まれる 場合</p>	<p>全国の都道府県看護協会が災害支援 ナースを派遣する</p>	

平成27年9月11日～10月15日

レベル1の対応:9月11日～15日

病院・施設への支援 延べ 63人

避難所 延べ 81人

10月1日～15日 延べ 92人

レベル2の対応:9月16日～9月30日

避難所 延べ488人

常総市鬼怒川水害における活動

1. 避難所への支援

一泊2日、2人を基本にし、主に避難者の健康維持を中心に避難所での生活全般の支援。

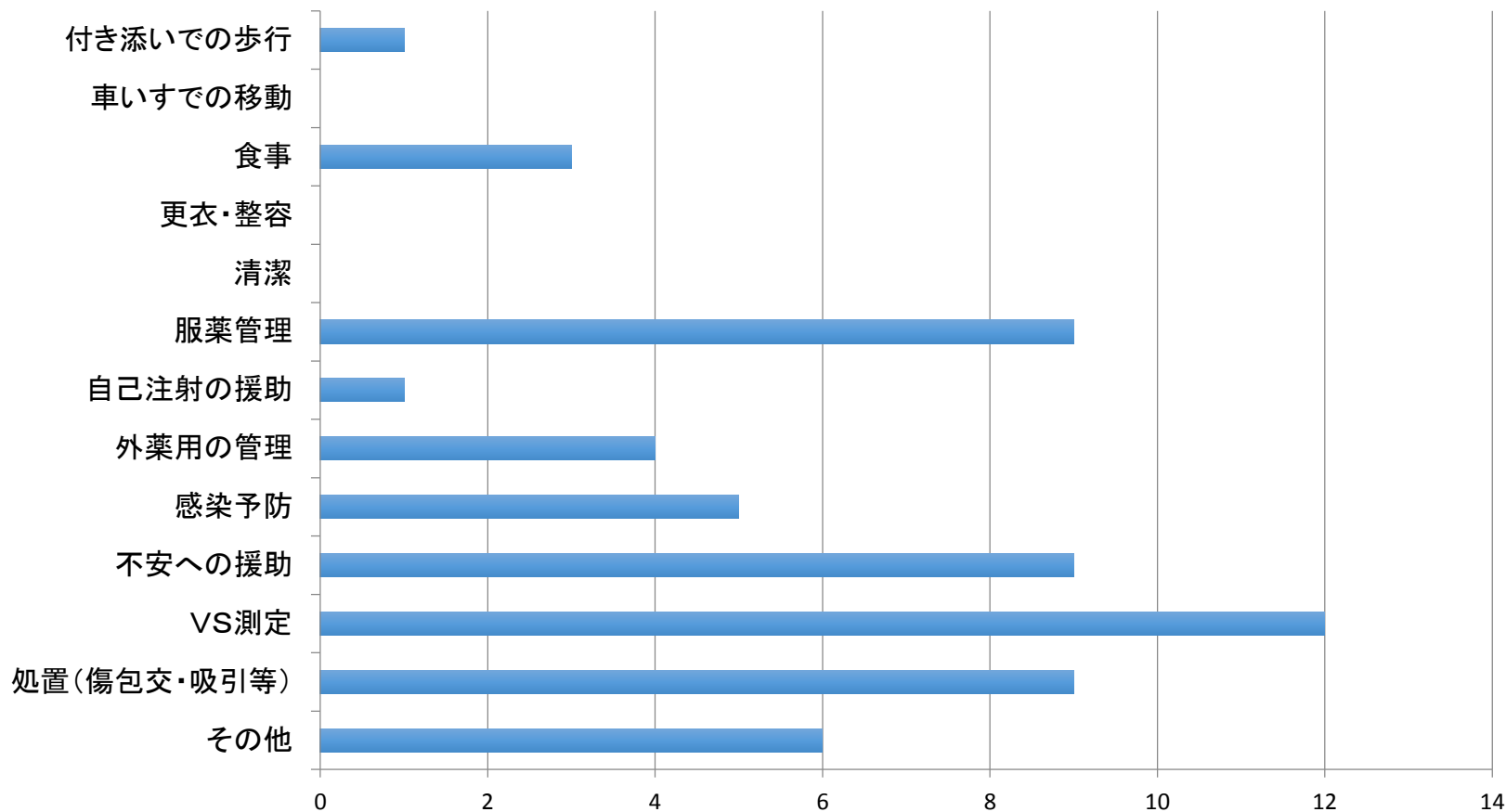
2. JMAT茨城

発災直後より四師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会）による急性期での活動、多職種でのチーム活動で日中のみ。

※ Japan Medical Association Team

避難所の医療・介護ニーズ

～活動記録から抜粋～



課題

医療ニーズの把握

通院中や訪問看護利用者等の把握ができる仕組みが必要

施設のチームから地域の医療チームへの体制